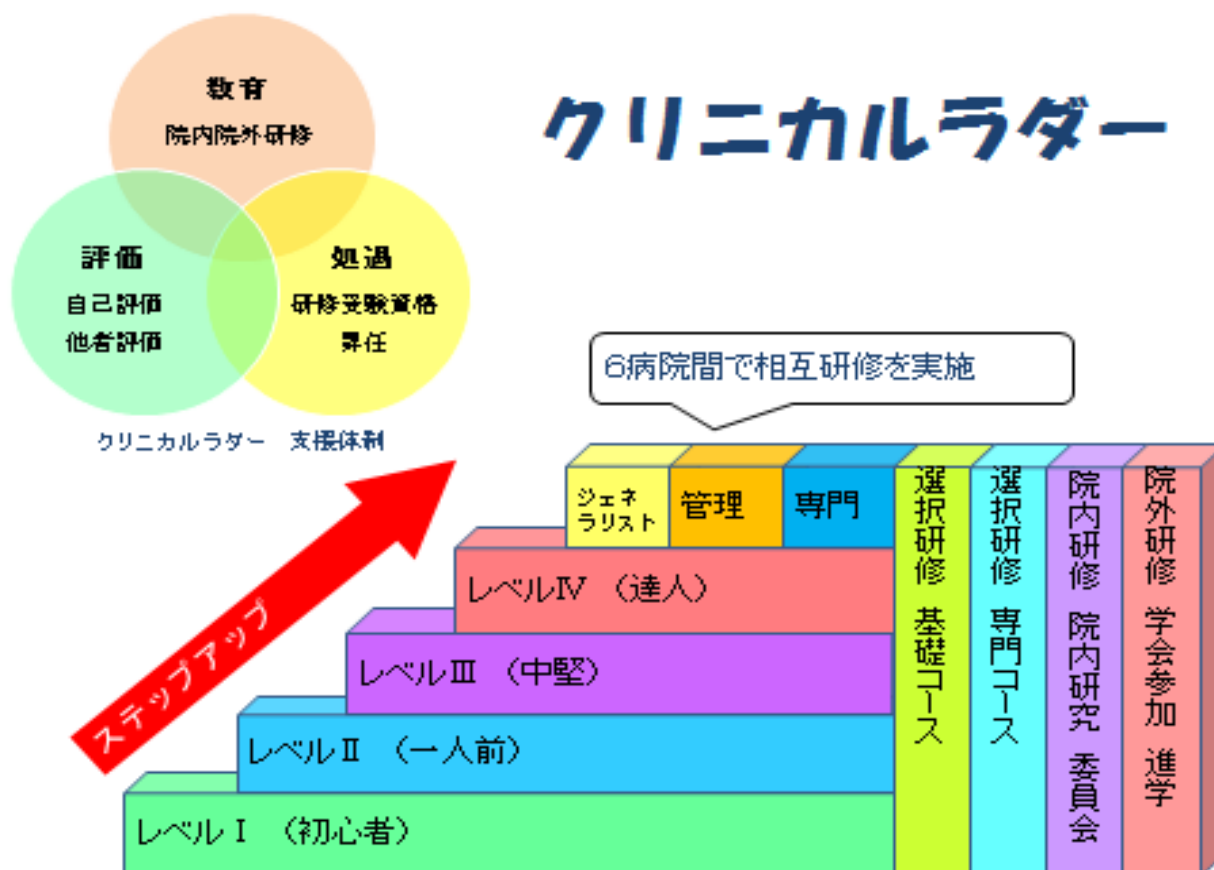


JA茨城県厚生連クリニカルラダー基本枠組みに沿って教育をおこなっています



クリニカルラダー

1. 看護職の臨床の場で必要な「看護実践能力」「組織内での役割遂行能力」「自己の教育研究能力」の技術や能力の程度に応じて、梯子（ラダー）のように等級を設定しキャリアアップを支援していくことです
2. ジェネラリストとして成長するための臨床実践能力を身に付けるためのツールです

平成30年度 教育スケジュール

		レベル1
	ラダー到達目標	1. 日常生活援助のための基本的技術・態度を身につけ、ベッドサイドケアが安全・確実にできる 2. チームメンバーとしての役割と責任を果たすことができる 3. 日常のケアや研修を通じて看護に必要な知識を深められる 4. 看護研究に興味を持って参加できる
	研修内容・方法	目標
看護実践能力	1. 薬に関する基礎知識 薬剤投与の基本と安全 対策 講義 2回	薬剤に関する基礎知識を学ぶことができる
	2. 口腔ケア	口腔内の評価、及び口腔ケアの方法が理解できる。
	3. 看護記録について 講義	看護記録を理解し、実施できる
	4. 看護必要度について 講義	看護必要度を理解し、評価できる
	5. 摂食嚥下について 講義・実技	摂食嚥下について理解できる
	6. モニター・除細動 講義・実技	モニター・除細動の安全な取り扱い方法を習得する
	7. シリンジポンプ・輸液 ポンプ 講義・実技	シリンジ・輸液ポンプの安全な取り扱い方法を習得する
	8. 呼吸器 講義・実技	呼吸器の原理および安全な取り扱い方法を習得する
	9. オムツ交換の実際 講義・実技	おむつ交換の方法が理解でき実施できる
	10. 看護場面の実際 グループワーク 机上訓練・シュミレーシ ョン	1. 優先順位を理解し、急変時の対応が理解できる 2. 多重課題を抱えながら、看護を安全に提供する実践能力の強化
	11. 看護安全 グループワーク 机上訓練・シュミレーシ ョン	1. 事例を通し危険予知が理解できる
	12. トランスファー 講義・演習 安全な移乗 方法の実際	安全な移乗の方法を学び 医療者側での腰痛などの問題発生予防に繋げることができる
組織的 役割遂行 能力	13. 一年の目標 今年度の目標: グループ ワーク レクリエーシ ョン	今年度の目標を見出し表出することで自己キャリアについての意識を高める 同期と良い人間関係を築き、職業意欲を高めることができる
	14. 上半期のまとめ: グ ループワーク レクリエーション: グル ープワーク・食事会	半年を振り返り、次期の課題を見出すことができる 同期と良い人間関係を築き、職業意欲を高めることができる
	15. 一年のまとめ 今年度のまとめ	今年度を振り返り、次年度の課題を見出すことができる
研究能力	16. ケーススタディ	事例検討することで、看護研究に対する心構えをすることができる。

レベルII		
	リーダー到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程を用い個別的なケアが実践できる 2. 状況に応じたリーダーシップが発揮できる 3. 後輩の指導ができる 4. 実践の課題に対し研究に取り込む 5. 看護研究に自発的に参加する
	研修内容・方法	目標
組織的役割	☆必須研修 1. フリセフターについて 講義・グループワーク	フリセフターシップを通して、自分の役割と責任を認識し後輩育成のために関わることができる
教育・研究	2. 看護研究 5回シリーズ (別紙参照)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の業務の中で問題意識を持ち看護研究のプロセスを学ぶことができる 2. 院内で看護研究発表ができる 3. 学会に参加することができる
レベルIII		
	リーダー到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リーダーとしての役割が実践できる 2. 看護実践の役割モデルとなれる 3. あらゆる場面でリーダーシップが発揮できる 4. 後輩・学生の指導に関われる 5. 看護研究を通して専門看護を深める
	研修内容・方法	目標
組織的役割	☆必須研修 1. リーダーシップ	<ol style="list-style-type: none"> 1. リーダーシップを理解し自分の役割を理解できる 2. 所属部署での自分の役割を理解しリーダーシップを発揮することができる
教育・研究	2. 看護研究 2回シリーズ(別紙参照)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の業務の中で問題意識をもち看護研究のプロセスを学ぶことができる 2. 院内外で看護研究発表ができる 3. 学会に参加することができる。
レベルIV		
	リーダー到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門性を発揮し創造的な看護実践の役割モデルとなれる 2. 部署の課題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる 3. 部署における教育的役割がとれる 4. 管理・専門分野の研究開発を行い変革の推進者となれる
	研修内容・方法	目標
組織的役割 遂行能力	☆必須研修 1. 目標管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. リーダーシップを理解し自分の役割を理解できる 2. 所属部署での自分の役割を理解し リーダーシップを発揮することができる
自己教育・研究 能力	2. 看護研究 査読方法 (別紙参照)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の業務の中で問題意識をもち看護研究のプロセスを学ぶことができる 2. 院内外で看護研究発表ができる 3. 学会に参加することができる。